

別紙 1-2 市町村調査票

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」 一市町村票一

【調査の目的】

令和6年度時点における、最新の実施状況や、実施段階ごとの課題等の把握を行い、事業の更なる充実、円滑な実施に向けて求められる支援等の内容を明らかにすることを目的として、全ての市町村を対象に実施するものです。

【調査項目】

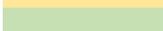
本調査は、次の7項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いします。
一体的実施の受託開始時期により、回答する調査票が異なりますのでご注意ください。

調査区分	設問内容		【受託中・令和7年度より受託予定】		
取組体制等	<ul style="list-style-type: none">● 庁内組織体制、人員数● 庁内連携の状況● 関係機関との連携状況、連携内容、連携状況、連携が図られていない場合の課題		対象区分	設問内容	
実施の有無、計画状況	<ul style="list-style-type: none">● 実施の有無・実施予定時期● 事業の評価と見直し● 取組方針、位置づけ等● ICT機器の活用状況	→ 分岐	「交付金非申請事業」事業実施状況	<ul style="list-style-type: none">● 実施している事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）● 対象者抽出方法（データ・ツール）● 実施体制● 実施上の課題● 評価指標の設定状況● 実施している事業の効果検証/評価の取組状況● 一体的実施の実施による効果	
広域連合、都道府県、国保連からの支援	<ul style="list-style-type: none">● 受けている支援・有効だった支援● 今後求める支援		【未受託・受託中止】	対象区分	設問内容
第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について	<ul style="list-style-type: none">● 広域連合からの運用に当たっての説明・事業実施への支援状況● 運用中の計画に対する理解度、標準化に関する認識● 計画策定に対する意見の反映● 後期高齢者の健康診査（データ化の状況、医療機関からの診療情報の活用状況、後期高齢者の質問票の取り扱い・システム等への入力状況、健診対象除外者）		「令和7年度以降受託未定」事業実施に向けた準備状況等	<ul style="list-style-type: none">● 受託に向けた課題● 検討状況	
後期高齢者質問票の使用状況	<ul style="list-style-type: none">● 使用場面・目的● データ化とデータ活用の状況● 活用していない理由		「受託中止」事業実施に向けた準備状況等	<ul style="list-style-type: none">● 受託中止の理由● 受託再開に向けた課題● 受託再開の検討状況● 受託再開に向けて必要な支援● 継続して実施している/実施を中止した事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）	
ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版● 「一体的実施・KDB活用支援ツール」● 「一体的実施・KDB活用支援ツール」の抽出条件の考え方と保健事業への活用Ver.1● 「一体的実施・実践支援ツール」				

【ご回答にあたって】

- ※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。
- ※本調査は、特に注意書きがない場合は、令和6年11月現在での状況についてお答えください。
- ※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等はご遠慮ください。
- ※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。
- ※Webフォーム上ではA票・B票に分かれておらず、設問番号が異なることにご注意ください。

<回答欄について>

- 単一回答のセル：  ... プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください
 - 複数回答のセル：  ... 当てはまるものすべてに「○」を入れてください
 - 自由記載のセル：  ... 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください
- ※グレーで網掛けになっているセルは一定の条件を入力すると回答できる仕組みになっています

【回答期限】

2024年11月27日（水）

【お問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、高見、森田、望月
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
TEL：0120-958-972（平日10-17時 ※12-13時除く）
MAIL：ittaiteki-survey2024@ml.mri.co.jp

回答者情報、一体的実施の受託状況をご入力の上、該当する「調査票」シートにお進みください。

■ 回答者情報

- 都道府県及び市町村名についてお答えください。※プルダウンからお選びください

都道府県名	
市町村名	
保険者番号(8桁)	
日常生活圏域数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■ 一体的実施の事業受託開始時期

- Q1. 一体的実施に関する広域連合からの事業受託開始時期についてお答えください。

受託開始時期		ご回答いただく調査票の種類
1. 令和6年度までに受託開始している ⇒ Q1-1 ^	⇒	「【A】 調査票」シートにご回答ください。
2. 令和7年度受託予定		
3. 令和7年度以降受託未定	⇒	「【B】 調査票」シートにご回答ください。
4. 過去に受託していたが、現在は中止 (今後も未定)		

※WebフォームではAとBに分かれていません。共通のフォームにご回答いただきます。

- Q1-1 一体的実施の受託開始時期をお答えください。

- 1 令和2年度から
- 2 令和3年度から
- 3 令和4年度から
- 4 令和5年度から
- 5 令和6年度から

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査—市町村票【調査票A】—

※Webフォーム上ではA票・B票に分かれておらず、設問番号が異なることにご注意ください。

1. 一体的実施の受託の状況・取組体制

【一体的実施に関わる庁内組織についてお伺いします】

Q2. i) 一体的実施について**企画・調整を行う担当者**の職種別人数（実人数とし常勤換算等は不要）をお答えください。

なお、人件費が特別調整交付金の対象になっているか否かに関わらず、実態を回答してください。

「3. 令和7年度以降受託未定」「4. 過去に受託していたが、現在は中止（今後も未定）」を選択した場合は、一体的実施の取組に向けてなど、高齢者の健康づくり・重症化予防の取組のための体制についてお答えください。（数値を入力）

※既定値は0人に設定されています。

ii) 兼務において、一体的実施に割く業務時間の割合はどの程度がお答えください。複数名いる際は、平均してご回答ください。

- 1 8割以上
- 2 半分以上8割未満
- 3 2割以上半分未満
- 4 2割未満

職種	i) 人数	左記のうち、他業務と兼務している担当者の人数	
		ii) 兼務割合	
医師	0名	0名	
保健師	0名	0名	
管理栄養士	0名	0名	
その他 ()	0名	0名	
合計 (自動計算)	0名	0名	

【Q2 i) で、一つでも人数が1人以上と回答した市町村にお伺いします】

Q2-1. 医療専門職が効率的・効果的に対応するための工夫はありますか。（複数回答）

- 1 ツールやコンテンツの共有
- 2 取組前の研修による理解促進
- 3 定期的な意見交換の機会の確保
- 4 多職種での方針決定や役割分担の相談・調整の機会の確保
- 5 その他 ()

Q3. 企画・調整を行う医療専門職の確保にあたり、工夫した点があればお答えください。（複数回答）

- 1 専任でなく兼務での配置
- 2 採用、増員
- 3 健康増進部門等からの異動で対応
- 4 既存業務の見直し
- 5 組織体制変更
- 6 保健師の配置見直し
- 7 管理栄養士の配置見直し
- 8 その他 ()
- 9 特になし

Q4. 一体的実施に関連する業務の関係部署を挙げ、担当業務や連携内容について該当するものをお答えください。

（複数回答）

部署名(※1)	担当業務(※2)				一体的実施に関する連携内容(※3)					
	国民健康保険(後期高齢者医療)	保健衛生	介護保険	その他	の事業の実施体制・内容・方法	を事業の実施状況について情報	る事業運営・実施に参画して	検事業務に参画しての課題や対策の	討地域参加の共有や対策の	その他の連携
主担当										
連携部署										

※1 最初の行に、一体的実施の主担当部署を記入してください。

※2 直営の地域包括支援センターについては、介護保険担当の連携部署としてご記入ください。

※3 1行目の主担当部署と連携している内容について該当するものをお答えください。

【関係機関との連携についてお伺いします】

Q5. 庁外の関係機関との一体的実施に関する連携内容をお答えください。（複数回答）

いずれの連携も行っていない場合は「連携なし」に○をつけてください。

関係機関	一体的実施に係る連携内容										連携なし	
	情報の共有	健康課題の分析への参加	実施方法・体制検討への参加	事業実施への参加（委託を含む）	職等への派遣	事業等への派遣	勉強会・セミナー等への参加	加・共催	研修会、会議への参加	事業の評価への参加		その他の連携
① 広域連合												
② 都道府県												
③ 国保連合会												
④ 医師会												
⑤ 歯科医師会												
⑥ 薬剤師会												
⑦ 看護協会												
⑧ 栄養士会												
⑨ リハビリ職能団体 ※1												
⑩ 歯科衛生士会												
⑪ 医療機関												
⑫ 地域包括支援センター ※2												
⑬ 社会福祉協議会												
⑭ 大学・研究機関等												
⑮ 商工会議所・商工会												
⑯ その他 ()												

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由記述）

Q6. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

i) 連携が十分に図られているか、また、

ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由記述）

（関係機関）	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携にあたり工夫したこと
① 広域連合		
② 都道府県		
③ 国保連合会		
④ 医師会		
⑤ 歯科医師会		
⑥ 薬剤師会		
⑦ 看護協会		
⑧ 栄養士会		
⑨ リハビリ職能団体		
⑩ 歯科衛生士会		
⑪ 医療機関		
⑫ 地域包括支援センター		

⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合

実施項目	庁内体制	地域連携	保健指導実施体制	その他	実施方法	実施時期	周知方法	その他	支援対象者のうち支援できた者の人数・割合	測定データ（体重、血圧等）の変化	HbA1c等（血糖値、検査データ）の変化	要介護認定状況	受診状況	サービステータス	通いの場参加状況	生活習慣の改善状況	質問票データの変化	その他	その他	
低栄養に関わる相談・指導																				
口腔に関わる相談・指導																				
服薬に関わる相談・指導																				
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導																				
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導																				
健康状態不明者の状態把握、必要なサービスへの接続																				
重複頻回受診者への相談・指導																				
その他①（ <input type="text"/> ）																				
その他②（ <input type="text"/> ）																				

■評価指標において「その他」の評価指標をもつ場合は具体的な指標をお答えください。（自由記述）

Q9-3. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなデータを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数回答）

- 1 一体的実施・KDB活用支援ツールで得たデータ
- 2 健診結果（後期高齢者の質問票以外）
- 3 健診等の際に取得した後期高齢者の質問票
- 4 基本チェックリスト
- 5 市町村独自のアンケート調査等
- 6 医療、介護のレセプトデータ
- 7 その他（）

Q9-4. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなツールを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数回答）

- 1 KDB
- 2 一体的実施・KDB活用支援ツール
- 3 その他保健指導システム（具体的な名称 ）
- 4 その他（）
- 5 特にツールは使っていない（エクセル等）

Q10. ハイリスクアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。（複数回答）

- 1 対象者の抽出基準・選定方法の決定
- 2 目標・評価指標の設定
- 3 対象者の抽出・リストアップ（KDBシステムの活用等を含む）
- 4 医療機関との連携・調整
- 5 他の部課室の事業等の活用
- 6 予算の確保
- 7 企画・調整を行う医療専門職の確保
- 8 地域を担当する医療専門職の確保
- 9 保健指導に係るノウハウ・知識不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 参加者への周知
- 13 保健指導後のフォローアップ
- 14 事業実施後の評価・改善策の立案
- 15 その他（）
- 16 課題はない

【ポピュレーションアプローチについてお伺いします】

Q11. ポピュレーションアプローチについて、今年度中の実施の有無（実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」）、実施体制をご記入ください。

また受託予定の市町村については、現段階での予定をお答えください。

実施項目	実施の有無	市町村の再委託により実施（市町村から外部機関への委託（一部委託含む）で実施）
健康教育	運動	<input type="checkbox"/>
	栄養	<input type="checkbox"/>

フレイル予防の普及啓発	健康相談	口腔		
		その他 ()		
	健康相談	運動		
		栄養		
		口腔		
	その他 ()			
フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等				
健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施				
その他 ()				

Q12. ポピュレーションアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。(複数回答)

- 1 目標・評価指標の設定
- 2 他の部課室の事業等の活用
- 3 通いの場に係る情報収集
- 4 通いの場の担い手との連携
- 5 通いの場との関わり方
- 6 参加者への周知
- 7 予算の確保
- 8 医療専門職の確保
- 9 健康教育等や個別支援への接続に関するノウハウ・知識の不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 指導結果のフォロー
- 13 事業実施後の評価・改善策の立案
- 14 その他 ()
- 15 課題はない

【すべての市町村に、ハイリスクアプローチ/ポピュレーションアプローチの双方についてお伺いします】

Q13. ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチに、地域で実施に関わっている専門職別の人数(実人数とし常勤換算等は不要)と、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチごとの関与の有無をお答えください。

(委託先における専門職の人数は除く) ※規定値は0人になっています

職種	A	B	C
	地域で保健事業に関わる専門職の総数	うち、ハイリスクアプローチに関わる人員の有無	うち、ポピュレーションアプローチに関わる人員の有無
医師			
歯科医師			
保健師			
看護師	0名		
管理栄養士	0名		
栄養士			
歯科衛生士			
薬剤師			
理学療法士			
作業療法士			
言語聴覚士			
その他()			

【Q14~17は令和6年度までに受託開始している市町村のみお答えください】

Q14. 一体的実施の取組において、事業の評価として行ったことをお答えください。(複数回答)

- 1 庁内連携の状況の確認・課題の抽出
- 2 地域の関係機関・関係団体との連携の状況の確認・課題の抽出
- 3 事業の実施量(実施回数・参加人数等)を用いた分析
- 4 参加者・対象者の満足度・意見に関する分析
- 5 参加者・対象者の状態像の変化の分析
- 6 成果指標(医療費、要介護認定率等)の変化の分析
- 7 報告書での成果の確認(市町村からの委託の場合)
- 8 定性的な成果の分析 (成果の内容 :)
- 9 その他()
- 10 事業開始間もないため評価ができない
- 11 評価を実施していない

Q15. 一体的実施の取組において、事業の評価の活用、事業報告の状況についてお答えください。(複数回答)

- 1 広域連合と評価結果について情報共有し、改善策等を検討した
- 2 庁内の関係部局間で事業評価を共有した
- 3 関係機関・関係団体に事業評価を共有した
- 4 住民に対して、事業の意義や成果について周知・広報した

- 5 事業評価を踏まえ、次年度の事業の実施計画へ反映した
- 6 事業評価を踏まえ、データヘルス計画等へ反映した
- 7 その他 ()
- 8 事業評価はしたが、事業報告していない

Q16. 一体的実施の取組において、事業実施後に事業の企画・運営上、課題として挙げたことと、挙げられた課題に対して対策・見直しを講じたかどうか（講じた場合は○、講じていない場合は×）と、対策・見直しを講じた場合の具体的な主な内容（自由記述）をお答えください。

課 題	課題として挙げた	対策・見直しを講じた	対策・見直しを講じた主な内容
事業対象の抽出基準、選定、優先度のつけ方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
実施体制（検討不足、人員不足等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
事業の実施方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
相談・指導の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
事業の実施結果の蓄積、活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
周知の方法や対象者への連絡方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他(<input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
事業開始間もない／未実施のため、課題整理ができていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

Q17. 一体的実施に取り組んだことで、これまでどのような効果があったと感じていますか。（複数回答）

- 1 高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった
- 2 高齢者の保健事業を実施するうえでの後期高齢者医療広域連合との連携ができるようになった
- 3 健康課題が明確化した
- 4 庁内外の関係者間の調整や地域医療関係団体との連携が促進された
- 5 国民健康保険と後期高齢者医療の事業の接続ができる環境が整った
- 6 地域支援事業（介護保険）と後期高齢者医療の事業を一体的に取り組める環境が整った
- 7 事業の効率化が図られた
- 8 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった
- 9 高齢者への個別的な支援が充実した
- 10 通いの場等における健康相談が充実した
- 11 事業目標を課題に基づいて設定できるようになった
- 12 適切に事業の評価が可能となった
- 13 その他 ()
- 14 特になし

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q18. 保健事業実施にあたり、**ハイリスクアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

-
- 1 活用している
 - 2 活用していない
 - 3 活用予定あり

【Q18で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q18-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

Q19. 保健事業実施にあたり、**ポピュレーションアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

-
- 1 活用している
 - 2 活用していない
 - 3 活用予定あり

【Q19で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

【Q18かQ19で、「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-2. ICT機器を活用している（活用を予定している）理由についてご回答ください。（複数回答）

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他（ ）

【Q18とQ19の両方で、「2. 活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-3. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください。（複数回答）

- 1 財源の確保が困難
- 2 適切に機器を扱える人員がいない
- 3 導入方法がわからない
- 4 検討したことがない
- 5 その他（ ）

3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q21. 広域連合から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q22へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q22のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q22. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

Q21で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	受けた支援		今後受けたい支援
	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	
広域連合との直接対話	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
課題分析、実施方法等に関する助言や指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特別調整交付金の申請に関わる支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合が開催するセミナー・研修会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研修等への広域連合職員等の派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合による市町村の健康課題の分析	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合を通じた他市町村との連携の調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合からの有識者等の派遣等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(<input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ その他、広域連合から今後受けたい支援があればお答えください。（自由記述※任意回答）

Q23. 広域連合のセミナー・研修会等で有効だったテーマをお答えください。（複数回答）

- 1 一体的実施に関する国の動き・制度
- 2 データヘルス計画の内容
- 3 当該都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について
- 4 当該都道府県内の市町村での高齢者の保健事業と介護予防の現状
- 5 当該都道府県内の市町村毎の健康課題の現状
- 6 高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用
- 7 広域連合及び市町村による事例報告
- 8 その他（ ）
- 9 セミナー・研修会等を受けていない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q24. 都道府県・国保連合会等から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q25へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q25のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q25. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について、該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

（都道府県と国保連合会等で共催されている場合等については、都道府県、国保連合会等の両方に記入してください。）

Q24で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

	都道府県		国保連合会 等	
	受けた支援	今後受けたい支援	受けた支援	今後受けたい支援
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

支援内容	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	い支援	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	けたい支援
一体的実施に関する国の動きの情報提供、セミナー等						
地域の課題分析手法に関するマニュアル提供、セミナー等						
KDBの活用に関するマニュアル提供、セミナー等						
上記以外のセミナー ※1 (表下の※1にも記入してください)						
保健事業の実施に関する技術的助言・相談						
保健事業の実施のための専門人材の派遣						
医療専門職派遣による指導等						
医療関係団体との調整						
他市町村との調整						
その他 ※2 (表下の※2にも記入してください)						

(※1 上記以外のセミナー :)

(※2 その他 :)

■ その他、今後受けたい支援があればお答えください。(自由記述 ※任意回答)

Q26. 国民健康保険中央会の「令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」の動画を視聴しましたか。

出典: <https://www.kokuho.or.jp/hoken/support.html>

- 1 視聴した
- 2 視聴していない

【Q26で、「2. 視聴していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-1. 視聴していない理由をお答えください。

- 1 知らなかった
- 2 忘れていた
- 3 視聴する時間が確保できなかった
- 4 必要ないと判断した
- 5 その他 ()

Q27. 令和5年度の一体的実施の取組の事業評価・報告をする上で、評価できた内容について回答ください。(複数回答)

※「市町村における『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施』のための進捗チェックリストガイド」(P40)のチェック項目

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/000769100.pdf>

- 1 本事業の実施にあたり、部局横断的な協議ができた
- 2 地域の関係機関との連携体制が構築できた。とくに広域連合との連携が深まった
- 3 データ分析、保健指導に必要な人材が確保でき、研修も実施できた(内・外含め)
- 4 事業実施計画書、実施マニュアル、保健指導教材の準備ができた
- 5 (委託の場合) 委託先と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた
- 6 全体のスケジュール管理をおこなった
- 7 KDB等活用して、健康課題の分析、対象者の抽出などができた
- 8 概ね計画どおり、質問票実施や保健指導・支援することができた
- 9 参加者の満足度、意見、参加状況などを評価した
- 10 状況の変化に対応し、チームで検討の上、マニュアルやスケジュールの修正をおこない、対応できた
- 11 抽出された対象者の中で、実際に関わった人の人数を把握した
- 12 通いの場等での質問票や支援の実施人数を把握した
- 13 質問票や検査データ等で効果を確認した
- 14 要介護認定の状況を確認した
- 15 レセプトで受診状況を確認した
- 16 (委託の場合) 報告書で成果を確認した
- 17 広域連合と評価結果について情報共有した。これをもとに改善策等を話し合った
- 18 関係部局間で、事業評価結果を共有する場を設けた
- 19 本事業に関係した団体等に事業報告した
- 20 地域の協議会などで分析結果の報告や改善策の検討をおこなった
- 21 住民に対し、本事業の意義や成果について情報提供等をおこなった
- 22 今年度の評価を踏まえ、次年度の計画策定をおこなった
- 23 長期的に健診やレセプト情報で評価できる体制を整えた
- 24 年度や担当者が代わっても進捗が滞らないような対策をおこなった

4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

Q28. 広域連合が第3期データヘルス計画を運用するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q29. 運用中のが第3期データヘルス計画の内容について、どの程度理解していると考えていますか。

- 1 十分に理解して事業に活かしている
- 2 十分に理解しているが活かしていない
- 3 概要程度は理解している
- 4 あまり理解していない
- 5 全く分からない

Q30. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の運用に当たり、方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q31. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

【Q31で、「1.受けている」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1. 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。（複数回答）

- 1 市町村別の健康課題の提示
- 2 国データと広域連合のデータの比較
- 3 共通評価指標の提示
- 4 その他（ ）

Q32. 現在運用中の第3期データヘルス計画について、広域連合に意見具申及び調整の機会がありましたか。また貴市町村からの意見が計画策定に反映されましたか。

- 1 意見具申・調整の機会があり、意見は反映された
- 2 意見具申・調整の機会があったが、意見は反映されなかった
- 3 意見具申・調整の機会があったが、意見しなかった
- 4 意見具申・調整の機会がなかった

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします（R6年11月1日時点）】

Q33. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。（KDBシステム等への登録などを含む）

- 1 保管している
- 2 保管していない

【Q33で、「1. 保管している」と回答した市町村にお伺いします】

Q33-1. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名：（ ）
会社名：（ ）
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（ ）

Q33-2. データ登録のタイミングをお答えください。

- 1 定期的 → 月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q33で、「2. 保管していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q33-3. データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他（ ）

Q34. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 健診事業は広域連合が主体として運用しているため、わからない

【Q34で、「1.実施している」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-1. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数： ）
- 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数： ）
- 3 把握していない

Q34-2. 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
- 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
- 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
- 4 把握していない
- 5 その他（ ）

Q34-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用（いわゆるみなし健診）している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 8 その他（ ）

【Q34で、「2.実施していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-4. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 人員不足、業務負担増加への懸念
- 6 広域連合が実施していない、広域連合からの指示がないため
- 7 不要と判断したため →（その理由： ）
- 8 その他（ ）

Q34-5. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

- 1 実施に向けて準備中
- 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
- 3 実施の予定はない

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q35. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」（令和5年4月6日付け事務連絡）参照

- 1 同一の対象者である
- 2 同一の対象者でない

Q36. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している
- 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している
- 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 5 通知していない
- 6 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない

【Q36で、「2.全受診者に健診項目の一部の項目について通知している」または「4.一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。（複数回答）

- 1 既往歴
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無
- 3 身長、体重
- 4 BMI
- 5 血圧
- 6 AST、ALT、γ-GT（肝機能検査）
- 7 血清トリグリセライド（中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロール（血中脂質検査）
- 8 血糖検査

- 9 尿中の糖及び蛋白の有無（尿検査）
- 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの

【全ての市町村にお伺いします】

Q37. 健診受診対象者に対して、受診券の送付をしていますか。（事業者による委託の場合を含む）

- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
- 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
- 3 個別の受診券の送付はしていない
- 4 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない
- 5 その他（ ）

Q38. 健診受診率向上のために、市町村としてどのような取組をしていますか。

- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- 4 SNS等を活用した周知
- 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- 9 自己負担なし
- 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
- 12 その他（ ）

5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q39. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。なお、一体的実施の取組において、抽出条件として活用する場合は選択肢1～3の「健康診査の問診」、保健指導の際に活用される場合は選択肢5「保健指導における健康状態のアセスメント」に包含されることを想定しています。（複数回答）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（ ）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す ⇒Q41へ

【Q39で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q39-1. 後期高齢者の質問票をどのように活用（説明を含む）しているかについて、健康診査、みなし健診、通いの場等での活用状況をご回答ください。（複数回答）

	健康診査	みなし健診	通いの場等
1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 受診者へ説明等をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q40. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。（複数回答）

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 3 健康診査での結果を紙でのみ保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙でのみ保管している
- 5 その他（ ）
- 6 保管していない ⇒Q42へ

【Q40で、「1」～「5」（後期高齢者の質問票を保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-1. 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らなかった

Q40-2. 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。（複数回答）

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用

- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 ()
- 7 保管しているが活用していない

【Q40で、「1」「2」（後期高齢者の質問票をデータ化して保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-3. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名： ()
会社名： ()
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 ()

Q40-4. データ登録のタイミングをお答えください。

- 1 定期的 → か月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q40で、「3」「4」（後期高齢者の質問票を紙でのみ保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-5. データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他 ()

【Q39で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q41. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 ()

6. ガイドライン等の活用状況

Q42. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- ① **高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版**
出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

Q43. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要等と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。

（複数回答）

- 1 低栄養に関するプログラム例
- 2 口腔に関するプログラム例
- 3 服薬に関するプログラム例
- 4 身体的フレイル（ロコモティブシンドローム）に関するプログラム例
- 5 重症化予防（糖尿病性腎症、その他生活習慣病）に関するプログラム例
- 6 健康状態不明者への支援プログラム例
- 7 ポピュレーションアプローチを活用した支援の実施
- 8 その他 ()
- 9 確認したい事項は特になし

以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形の公表はございません。

研究班の詳細：https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya

【I. 各種ツールや関連資料について、お伺いします】

【「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q44. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない
- 4 未定

【Q44で、「1.ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2.使うことを検討中である」と回答した市町村にお伺いします】

Q44-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）の立案
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（ ）

Q44-2. 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版（国保中央会作成）を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q44で、「3.使う予定はない」「4.未定」と回答した市町村にお伺いします】

Q44-3. 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【「抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q45. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q45で、「1.役立つ」～「4.全く役立たない」と回答した市町村にお伺いします】

Q45-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【「一体的実施・実施支援ツール」とその関連資料について、お伺いします】

Q46. 「一体的実施・実践支援ツール」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q46で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q46-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 課題分析・対象者の概数把握
- 2 対象者の絞り込み
- 3 対象者リスト作成
- 4 介入記録
- 5 アウトプット評価
- 6 マクロ的評価

【全ての市町村にお伺いします】

Q47. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q47で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q47-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画の立案
- 2 対象者の抽出・絞り込み
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 実施内容・結果の記録
- 5 実施内容・結果を活用した事業評価
- 6 その他（ ）

【全ての市町村にお伺いします】

Q48. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

⑩	歯科衛生士会																			
⑪	医療機関																			
⑫	地域包括支援センター※2																			
⑬	社会福祉協議会																			
⑭	大学・研究機関等																			
⑮	商工会議所・商工会																			
⑯	その他 ()																			

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由記述）

Q4. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

i) 連携が十分に図られているか、また、

ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由記述）

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか		連携にあたり工夫したこと
① 広域連合		⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合	
② 都道府県			
③ 国保連合会			
④ 医師会			
⑤ 歯科医師会			
⑥ 薬剤師会			
⑦ 看護協会			
⑧ 栄養士会			
⑨ リハビリ職能団体			
⑩ 歯科衛生士会			
⑪ 医療機関			
⑫ 地域包括支援センター			
⑬ 社会福祉協議会			
⑭ 大学・研究機関等			
⑮ 商工会議所・商工会			
⑯ その他			
⑯ その他の機関名			

Q5. 貴市町村において、一体的実施の取組における強みはありますか。（複数回答）

- 1 担当者の職種や人数等が充実している
- 2 担当者のスキルが高い

<input type="checkbox"/>	3 マニュアル等を整備しており、スキル不足等を補完できている
<input type="checkbox"/>	4 4. 研修会等の機会が確保されており、スキル不足等を補完できている
<input type="checkbox"/>	5 近隣市町村と情報交換ができています
<input type="checkbox"/>	6 広域連合と活発な意見交換が可能な関係性にある
<input type="checkbox"/>	7 広域連合からの支援が充実している（研修会や個別相談対応等）
<input type="checkbox"/>	8 国保連合会からの支援が充実している（研修会や個別相談対応、データの提供・解説等）
<input type="checkbox"/>	9 都道府県の担当窓口が明確で調整等がしやすい
<input type="checkbox"/>	10 都道府県や保健所による助言等の支援が得られる
<input type="checkbox"/>	11 都道府県や保健所から実施の際の協力が得られる
<input type="checkbox"/>	12 関係団体からの助言等の支援が得られる
<input type="checkbox"/>	13 関係団体から実施の際の協力が得られる
<input type="checkbox"/>	14 関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している
<input type="checkbox"/>	15 その他（ <input type="text"/> ）

2. 一体的実施の事業実施に向けた準備状況等

【Q7～9は過去に受託経験がなく令和6年度以降受託未定の市町村のみお答えください】

Q7. 一体的実施の受託に向けた課題について該当するものをお答えください。

※課題となっている・課題と感じている場合には「○」、課題になっていない・課題とは感じていない場合には「×」を選択してください。

	課題
① 広域連合との調整	
a. 一体的実施の事業内容・実施の方針の調整	<input type="checkbox"/>
b. 広域連合との調整の機会の設定	<input type="checkbox"/>
② 方針策定等	
c. 市町村が策定する基本的な方針の策定	<input type="checkbox"/>
d. 事業の準備の手順や作業内容の明確化	<input type="checkbox"/>
e. データヘルス計画や介護保険事業計画等既存計画との整合性の確保	<input type="checkbox"/>
③ 課題分析、企画	
f. 地域の課題分析ができる人材の確保	<input type="checkbox"/>
g. 地域の課題分析のためのデータ入手や分析環境の確保	<input type="checkbox"/>
h. 地域の課題分析の方法の確定等	<input type="checkbox"/>
i. 地域の課題の把握	<input type="checkbox"/>
j. 地域の課題に応じた事業の企画・立案	<input type="checkbox"/>
④ 体制構築	
k. 庁内の関係部署の連携体制構築	<input type="checkbox"/>
l. 庁内関係部署との一体的実施の受託時期の合意形成	<input type="checkbox"/>
m. 庁内関係部署との事業内容等に係る合意の形成	<input type="checkbox"/>
n. 企画・調整を担当する医療専門職の確保	<input type="checkbox"/>
o. 地域を担当する医療専門職の確保	<input type="checkbox"/>
p. 庁外の関係機関との連携体制の構築	<input type="checkbox"/>
q. 庁外の関係機関との事業内容等に係る合意の形成	<input type="checkbox"/>
⑤ 実施場所・実施圏域	
r. ハイリスクアプローチの実施の調整	<input type="checkbox"/>
s. ポピュレーションアプローチの実施の調整・通いの場等との事業内容の調整	<input type="checkbox"/>
⑥ その他	
t. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>

Q8. 一体的実施の受託に関する検討状況についてお答えください。

- 1 受託に向けた検討をしている
- 2 受託に向けた検討をしていないが、今後検討する予定
- 3 受託に向けた検討をする予定がない

Q9. 後期高齢者医療の調整交付金の交付を受けたいと考えていますか。

- 1 考えている
- 2 考えていない

【Q10～12は過去に受託していたが現在は中止している市町村のみお答えください】

Q10. 一体的実施の受託を中止した理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 資金不足
- 2 担当者・専門職が不在になり、継続できなくなった
- 3 その他（ ）

Q11. 一体的実施の受託再開についての検討状況をお答えください。

-
- 1 再開の目処が立っている
 - 2 当面難しいが、目処が立ち次第再開したい
 - 3 再開はしない

【Q11で「1. 再開の目処が立っている」「2. 当面難しいが、目処が立ち次第再開したい」と回答した市町村にお伺いします。】

Q11-1. 一体的実施の受託再開に向けて、課題解決が必要な事項としてあてはまるものをお答えください。（複数回答）

- 1 人材育成
- 2 人材の新規採用
- 3 資金繰りの見直し
- 4 計画の見直し
- 5 関係機関からの協力・支援 → 関係機関名：（ ）
- 6 その他（ ）

Q11-2. 一体的実施の受託再開に向けて、どのような支援があれば再開できるかお答えください。（複数回答）

- 1 企画調整を行うものの配置
- 2 計画書作成の支援・契約書の策定
- 3 人員派遣
- 4 民間事業者の紹介
- 5 ICTによる遠隔指導の導入
- 6 その他（ ）

Q12. 一体的実施の受託中止後、企画調整はないが同様の事業を継続して実施している事業、受託中止に伴い実施を中止した事業についてお答えください。

- 1 受託中止後も継続して実施
- 2 受託中止に伴い実施中止
- 3 受託有無にかかわらず実施していない
- 4 受託中止後に開始

	ハイリスク アプローチ	ポピュレーション アプローチ	保健事業
健診			
歯科健診			
低栄養			
口腔			
糖尿病性腎症重症化予防			
重複多剤			
身体的フレイル			
健康状態不明者対策			
その他（ <input type="text"/> ）			

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q13. 保健事業実施にあたり、ハイリスクアプローチを実施する際にICT機器を活用していますか。

-
- 1 活用している
 - 2 活用していない
 - 3 活用予定あり

【Q13で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q13-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

Q14. 保健事業実施にあたり、ポピュレーションアプローチを実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 活用予定あり

【Q14で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q14-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 ()

【Q13もしくはQ14で、「1」「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q15. ICT機器を活用している(活用を予定している)理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他 ()

【Q13とQ14の両方で、「2. 活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q16. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 財源の確保が困難
- 2 適切に機器を扱える人員がない
- 3 導入方法がわからない
- 4 検討したことがない
- 5 その他 ()

3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q17. 広域連合から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q18. 都道府県・国保連合会等から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

Q19. 国民健康保険中央会の「令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」の動画を視聴しましたか。

出典: <https://www.kokuho.or.jp/hoken/support.html>

- 1 視聴した
- 2 視聴していない

【Q19で、「2. 視聴していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-1. 視聴していない理由をお答えください。

- 1 知らなかった
- 2 忘れていた
- 3 視聴する時間が確保できなかった
- 4 必要ないと判断した
- 5 その他 ()

4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

Q20. 広域連合が第3期データヘルス計画を運用するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q21. 運用中のが第3期データヘルス計画の内容について、どの程度理解していると考えていますか。

- 1 十分に理解して事業に活かしている
- 2 十分に理解しているが活かしていない
- 3 概要程度は理解している
- 4 あまり理解していない
- 5 全く分からない

Q22. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の運用に当たり、方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q23. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

【Q23で、「1. 受けている」と回答した市町村にお伺いします】

Q23-1. 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。（複数回答）

- 1 市町村別の健康課題の提示
- 2 国データと広域連合のデータの比較
- 3 共通評価指標の提示
- 4 その他 ()

Q24. 現在運用中の第3期データヘルス計画について、広域連合に意見具申及び調整の機会がありましたか。また貴市町村からの意見が計画策定に反映されましたか。

- 1 意見具申・調整の機会があり、意見は反映された
- 2 意見具申・調整の機会があったが、意見は反映されなかった
- 3 意見具申・調整の機会があったが、意見しなかった
- 4 意見具申・調整の機会がなかった

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします（R6年11月1日時点）】

Q25. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。（KDBシステム等への登録などを含む）

- 1 保管している
- 2 保管していない

【Q25で、「1. 保管している」と回答した市町村にお伺いします】

Q25-1. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名：（）
会社名：（）
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（）

Q25-2. データ登録のタイミングをお答えください。

-
- 1 定期的 → 月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q25で、「2. 保管していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q25-3. データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他（）

Q26. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

-
- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 健診事業は広域連合が主体として運用しているため、わからない

【Q26で、「1.実施している」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-1. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

-
- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数：）
- 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数：）
- 3 把握していない

Q26-2. 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

-
- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
- 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
- 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
- 4 把握していない
- 5 その他（）

Q26-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用（いわゆるみなし健診）している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 8 その他（）

【Q26で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-4. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 人員不足、業務負担増加への懸念
- 6 広域連合が実施していない、広域連合からの指示がないため
- 7 不要と判断したため → (その理由:)
- 8 その他 ()

Q26-5. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

- 1 実施に向けて準備中
- 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
- 3 実施の予定はない

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q27. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。

※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」

(令和5年4月6日付け事務連絡) 参照

- 1 同一の対象者である
- 2 同一の対象者でない

Q28. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している
- 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している
- 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 5 通知していない
- 6 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない

【Q28で、「2.全受診者に健診項目の一部の項目について通知している」または

「4.一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している」と回答した市町村にお伺いします】

Q28-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。(複数回答)

- 1 既往歴
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無
- 3 身長、体重
- 4 BMI
- 5 血圧
- 6 AST、ALT、γ-GT (肝機能検査)
- 7 血清トリグリセライド (中性脂肪)、HDLコレステロール、LDLコレステロール (血中脂質検査)
- 8 血糖検査
- 9 尿中の糖及び蛋白の有無 (尿検査)
- 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの

【全ての市町村にお伺いします】

Q29. 健診受診対象者に対して、受診券の送付をしていますか。(事業者による委託の場合を含む)

- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
- 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
- 3 個別の受診券の送付はしていない
- 4 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない
- 5 その他 ()

Q30. 健診受診率向上のために、市町村としてどのような取組をしていますか。(複数回答)

- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- 4 SNS等を活用した周知
- 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- 9 自己負担なし
- 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
- 12 その他（ ）

5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q31. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。なお、一体的実施の取組において、抽出条件として活用する場合は選択肢1～3の「健康診査の問診」、保健指導の際に活用される場合は選択肢5「保健指導における健康状態のアセスメント」に包含されることを想定しています。（複数回答）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（ ）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す

⇒Q33へ

【Q31で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1. 後期高齢者の質問票をどのように活用（説明を含む）しているかについて、健康診査、みなし健診、通いの場等での活用状況をご回答ください。（複数回答）

	健康診査	みなし健診	通いの場等
1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 受診者へ説明等をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q32. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。（複数回答）

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 3 健康診査での結果を紙でのみ保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙でのみ保管している
- 5 その他（ ）
- 6 保管していない

⇒Q34へ

【Q32で、「1」～「5」（後期高齢者の質問票を保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q32-1. 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らなかった

Q32-2. 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。(複数回答)

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用
- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 ()
- 7 保管しているが活用していない

【Q32で、「1」「2」(後期高齢者の質問票をデータ化して保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q32-3. データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録)
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: ()
会社名: ()
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 ()

Q32-4. データ登録のタイミングをお答えください。

-
- 1 定期的 → か月に1回
- 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q32で、「3」「4」(後期高齢者の質問票を紙でのみ保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q32-5. データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他 ()

【Q31で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q33. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 ()

6. ガイドライン等の活用状況

Q34. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

① 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

-
- 1 活用している
- 2 活用していない

■ 活用していない理由 (自由記述 ※任意回答)

Q35. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要等と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。(複数回答)

- 1 低栄養に関するプログラム例
- 2 口腔に関するプログラム例
- 3 服薬に関するプログラム例

- 4 身体的フレイル（ロコモティブシンドローム）に関するプログラム例
- 5 重症化予防（糖尿病性腎症、その他生活習慣病）に関するプログラム例
- 6 健康状態不明者への支援プログラム例
- 7 ポピュレーションアプローチを活用した支援の実施
- 8 その他（ ）

以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細：https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya

【I. 各種ツールや関連資料について、お伺いします】

【「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q36. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない
- 4 未定

【Q36で、「1. ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2. 使うことを検討中である」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（ ）

Q36-2. 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版（国保中央会作成）を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q36で、「3. 使う予定はない」「4. 未定」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-3. 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【「抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1」とその関連資料について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q37. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q37で、「1. 役立つ」～「4. 全く役立たない」と回答した市町村にお伺いします】

Q37-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■ 解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【「一体的実施・実施支援ツール」とその関連資料について、お伺いします】

Q38. 「一体的実施・実践支援ツール」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q38で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q38-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

	1 課題分析・対象者の概数把握
	2 対象者の絞り込み
	3 対象者リスト作成
	4 介入記録
	5 アウトプット評価
	6 マクロ的評価

- 1 課題分析・対象者の概数把握
- 2 対象者の絞り込み
- 3 対象者リスト作成
- 4 介入記録
- 5 アウトプット評価
- 6 マクロ的評価

【全ての市町村にお伺いします】

Q39. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q39で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q39-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

	1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
	2 対象者の抽出
	3 保健事業の優先順位の検討
	4 事業評価
	5 その他（ ）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（ ）

【全ての市町村にお伺いします】

Q40. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」に

ついて、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）



以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。